

# コンソーシアム活動への支援イメージ

## スマート農業技術開発プラットフォーム

### プラットフォームの会員

#### ②調査票の提出

#### 〈主な要件〉

- ・機械や器具、システムなどの開発や改良に関するもの
- ・県内の生産現場の課題に対応したもの
- ・令和5年度に対応が可能なもの

#### マッチングできた場合

#### ⑥事業計画の作成・提出

#### マッチングできなかった場合

対応終了となります

### コンソーシアム (企業やJ A、大学など)

#### ⑩活動の実施 (機械・器具の開発や改良)

#### ⑪実績報告



### 農林水産総合センター（事務局）

#### ①マッチング調査の実施

#### ③打合せ（ヒアリング）

④実現性や必要性、普及性、必要経費、投入時間などについて総合的に検討

#### ⑤結果通知 (マッチングできない場合もある)

#### ⑦内容の審査・承認

#### ⑧コンソーシアム構築 (共同研究の契約締結)

#### ⑨コンソーシアムへの支援 (予算の範囲内)

- ・調査機械等の借上
- ・研究材料の購入
- ・専門家の派遣 など

#### ⑫情報交換会などでの発表



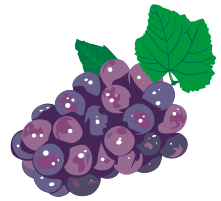
### 留意事項

- ※1 この事業は、製品化の可能性や実現可能性を調査する「フィジビリティ・スタディ」です。
- ※2 調査票の提出は、事業の実施を約束するものではありません。

# 令和6年度コンソーシアム構築スケジュール (岡山県「スマート農業技術開発プラットフォーム」)

## 1 生産現場における課題(ニーズ)の調査: 令和5年11月

生産現場(生産者やJAなど)における課題(ニーズ)を調査します。



## 2 情報交換会の開催: 令和6年2月

「会員の技術」と「生産現場の課題」をマッチングするため、情報交換会を開催します。

## 3 マッチング調査の実施: 令和6年3月

コンソーシアムの構築を希望する場合は、マッチング調査票を提出します。



## 4 打合せ会議の実施: 令和6年3月 (ヒアリング)

事業実施の必要性や実現性、普及性などについて総合的に検討・評価します。

## 5 マッチング結果の通知: 令和6年4月頃



## 6 事業計画の提出、承認: 令和6年5月～6月頃 (マッチングできた場合のみ)

## 7 コンソーシアム活動の開始(共同研究契約締結)



コンソーシアムを構築することは、生産現場の課題に基づく商品開発に役立つなど、メリットがあると考えています。

詳しくは岡山県農林水産総合センターへお問い合わせください。

事務局 〒709-0801 赤磐市神田沖1174-1 岡山県農林水産総合センター 産学連携推進課  
E-mail nousou-sangaku@pref.okayama.lg.jp TEL (086)955-0273  
HP <https://www.pref.okayama.jp/page/659050.html>



※内容やスケジュールは、変更となる場合があります。

(別紙)

## マッチング調査票

会員名

ご担当者名

連絡先 TEL

Mail

	記 入 欄	備考
1 解決しようとする 生産現場の課題 (番号を記載)		別添一覧表の番号 から選択してくだ さい。
2 対象品目		
3 解決策の概要		具体的に記載して ください。
4 活用できる現有技 術 (シーズ)		公表できるものを 記載してください 。
5 新たに開発が必要 な技術		新たに開発が必要 な場合は、記載し てください。
6 令和6年度の成果 目標		R6年度末におい て目標とする成果 を記載してくださ い。
7 協力が必要な企業 や関係機関		コンソーシアム構 成員 (予定) を記 載してください。
8 その他 (質問やP Rなど)		

※必要に応じて資料を添付してください (任意)。

※このマッチング調査票の提出は、事業の実施を約束するものではありません。

岡山県スマート農業技術開発プラットフォームに関するQA(未定稿)  
(コンソーシアムへの支援について)

R6 (2024)年2月  
産学連携推進課

① どのような内容ですか？

プラットフォーム活動に基づくコンソーシアム(共同研究体)における開発や改良を支援するものです。

実施後、製品化の制約はありませんが、実施の場合は、会員名やコンソーシアムの名称、実施概要などを公表するとともに、成果発表に協力していただきます。

なお、この事業は、本格的な共同研究や事業化に先立ち、事前に行う予備的な試験(調査)を行う、フィジビリティ・スタディ(「FS」という)です。

※フィジビリティ・スタディ(FS)：製品化の可能性や実現可能性を調査すること

② 主な要件は、何ですか？

次の要件を満たす必要があります。

- (1) 農業に関連する機械や器具、システムなどの開発や改良に関するもの
- (2) 県内の生産現場や地域の課題に適応したもの
- (3) 令和6年度に対応が可能なもの

③ どのような支援を受けることができますか？

支援の対象は申請者ではなく、共同研究に係る契約を締結したコンソーシアムへの支援となります。

具体的には、県(農林水産総合センター)による、コンソーシアム活動で必要となる調査機械などの借上げ、研究に必要な材料の購入、専門家の派遣などを想定しています(いずれも議会により議決された予算の範囲内)。

④ 支援を受けるにはどうすればよいですか？

コンソーシアム支援を円滑に行うため、事務局では、会員と県内の生産現場の課題とのマッチング調査を行います。

次に、実施希望者は、事務局と内容について、打合せ会議(ヒアリング)を行います。さらに、実施の必要性や実現性、普及性などについて総合的に検討・評価します。

このため、マッチング調査票を提出しても、コンソーシアムへの支援ができるとは限りません。

その上で、実施計画書を作成・提出するとともに、岡山県農林水産総合センターにおける計画内容の審査と承認が必要となります。

⑤ コンソーシアムへの支援額はいくらですか？

議会により議決された予算の範囲内で支援を行います。また、年間2つのコンソーシアムを予定しています。

⑥ なぜ、マッチング調査の申請はプラットフォーム会員としているのですか？

プラットフォーム活動の目的に賛同する会員における開発や改良を支援するためです。なお、コンソーシアムには、会員以外の企業や生産者団体（JA）などが参加することは可能です。

支援を希望する場合は、あらかじめプラットフォームへのご加入をお願いします

⑦ 過去に申請したことがある会員が再度申請することはできますか？

過去に申請した生産現場の課題と異なる内容であれば、申請は可能です。また、過去に申請した課題と同様である場合は、新たな取組を含む必要があります。

いずれにしても、新規の課題と同様に、実施の必要性や実現性、普及性などについて総合的に検討・評価します。

⑧ 1つの会員から、複数のマッチング調査票を提出しても良いですか？

コンソーシアム支援に係る予算やコンソーシアムの予定数から、1会員は、原則として1課題についてマッチング調査票を提出してください。